



なつのがくも

号外(R5. 2. 1)

練馬区立光が丘夏の雲小学校
校長 宮林 伸之



本校ホームページ QR
コードです、スマホなどが
らも閲覧できます、ご活用
ください。

令和4年度 光が丘夏の雲小学校の教育についてのアンケートの結果から ～光が丘夏の雲小学校の教育活動をよりよくするための考えや意見を踏まえて～ 皆様のご協力に感謝いたします。

日頃より本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。「令和4年度 光が丘夏の雲小学校の教育についてのアンケート」(学校関係者評価)の結果をまとめましたのでお知らせいたします。

今年度の回収率は76.2%でした。数多くの保護者の皆様からの貴重なご意見を頂きました。今年度より、Google フォームを活用してのアンケートとなり、昨年度と比較すれば回収率は下がりましたが、400件以上の回答をいただけたこと、本当に感謝申し上げます。また、評議員の皆様からより広い視点でのご意見もいただきました。これらを次年度の学校教育の改善の貴重な資料とさせていただきます。ありがとうございました。

令和4年度 光が丘夏の雲小学校の教育に関するアンケート

- ・ Google フォームを活用し、全児童数分でのアンケートを依頼
 - ・ 満足度を4～1で評価（0は分からない）
4とてもあてはまる 3だいたいあてはまる 2あまりあてはまらない 1あてはまらない
 - ・ 意見記入欄あり
- 【回収状況】 配布数 529 回収数 403 回収率 76.2%

1 各設問について～結果と考察～

※ 数値 (%) は自動計算での四捨五入のため、合計が100にならないこともあります。ご了承ください。

(保護者・教職員) 学校は、教職員が協力して教育活動にあたっている

(児童) 楽しく学校に通っている

	4	3	2	1	0
保護者	55.8	40	0.5	0.2	3.5
児童	44.2	45.2	8.2	2.3	
教職員	82.6	17.4	0	0	

(児童・教職員考察)

教職員が協力の意識をもつことは当然として、児童の1割強が「楽しめない」と回答していることに課題があります。楽しめていない要因を追求しながら、児童に充実感をもたせられる教育の実践を目指します。

(保護者考察)4・3合わせて95.8%です。

肯定的なご意見をたくさんいただきました。これは、本校が常日頃から「全児童を全教職員で見守る」ことを大前提とし、保護者の皆様にお伝えしていることが、結果に現れたと思います。本校では、管理職も含めて児童の情報を共有し、問題があれば学級・学年を超えて対応しております。今後もこの基本姿勢を崩さずに続けていきます。一方で、3.5%の方が「分からない」と回答したことは、まだ伝達が不十分であることを示しています。さらなる協働を目指し、精進して参ります。

(保護者・教職員) 学校は、分かる授業、身に付く授業、表現する授業に努めている。

(児童) 学習内容が分かっている。

	4	3	2	1	0
保護者	43.2	48.6	4.2	0.2	3.7
児童	49.1	42.1	7.8	1	
教職員	43.5	56.5	0	0	

(児童・教職員考察)

教職員の半数以上が3につけたことは、まだ改善できるという意識の表れです。授業に完成形はありません。現状を分析し、少しでも保護者・児童の意識が「4」に近付いていくことを目指します。

(保護者考察)4・3合わせて91.8%です。

肯定的なご意見が9割を超えましたが、厳しく見れば「とてもあてはまる」が43%にとどまったことは課題です。教員の基本は授業です。授業は常に進化しなくてははいけません。そのために教材研究があり、日々の児童の変容を見取る必要があります。本校の教員は先を見た計画を立てて準備を行っておりますが、より充実した授業が実践できるように、教員同士が教え合い、切磋琢磨できる環境を整えていきます。また、それに専念できるよう、業務の改善も進めて参ります。

(保護者・教職員) 学校は、学力定着を図るための取組(家庭学習の取組、算数少人数指導、ノート指導、読書活動など)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている。

(児童) 自分から進んで学習することができる。

	4	3	2	1	0
保護者	40.7	52.1	4.5	0.5	2.2
児童	33.9	45	17.5	3.5	
教職員	69.6	30.4	0	0	

(児童・教職員考察)

児童の2割弱が「進んで学習できていない」と回答したことが大きな課題です。学習は言われてやるものではなく、自己実現のために自ら取り組むものです。そこに気付かせられる教育を目指します。

(保護者考察)4・3合わせて92.8%です。

児童の学力を定着させるためには、授業以外での取組も重要です。授業に合わせた家庭学習のサポート・6年間を見通したノート指導など、長期的な視野が必要です。また、本校では「よむよむ」の皆様も支援してくださっていますが、学びの裾野を広げる読書活動の充実も重要です。学校は、毎年教職員の構成が変わりますが、人が入れ替わっても基本方針が変わらないように、引継ぎをしっかりと行います。そして、「とてもあてはまる」の割合が増えるように努めて参ります。

(保護者・教職員) 学校は、挨拶や学校の決まりを守ることなど、集団生活を送る上で基本的な生活習慣が身に付くように指導している。

(児童) ①昨年度より、あいさつができるようになった。

②昨年度より、学校のきまりを守ることができるようになった。

	4	3	2	1	0
保護者	51.9	44.9	0.5	0	2.7
児童①	46	41.3	11.1	1.6	
児童②	38.4	48.3	11.9	1.4	
教職員	56.5	39.1	4.3	0	

(児童・教職員考察)

大人が考える以上に、児童は挨拶に苦手意識があるようです。挨拶は習慣化が大切です。大人が手本を見せ続けることが必要です。きまりも「なぜ必要なのか」を、日頃から考えさせることを目指します。

(保護者考察)4・3合わせて96.8%です。

肯定的なご意見をたくさんいただきました。「とてもあてはまる」の回答が5割を超えたことは、日々の取組が保護者の皆様にも浸透してきていることを表していると思います。挨拶に関しては、校長自らが毎朝校門の前に立ち、児童・保護者・地域の皆様にご挨拶をしております。校舎内でも、教職員から子供たちに挨拶をすることで、子供たちの自発的な挨拶の習慣作りを目指しています。これらのことは継続が大切であり、今後も本校の大切な文化として守って参ります。

(保護者・教職員) 学校は、スマイル活動(異学年交流)など、児童の豊かな関係づくりに努めている。

(児童) スマイル活動で、ほかの学年の子となかよくなった。

	4	3	2	1	0
保護者	56.1	40.2	0.7	0	3
児童	38	40.7	14.8	6.4	
教職員	87	13	0	0	

(児童・教職員考察)

児童の8割が有用性を感じる一方、2割強が充実感を得られていないことが見えました。今年度行ったスペシャルスマイルのように、1回の内容を充実させ、より深いつながりが得られるような取組を目指します。

(保護者考察)4・3合わせて96.3%です。

本校では、6年生が中心となり、全学年が活動をともにする「夏雲スマイル」を実施しています。単なる縦割り活動ではなく、児童の自主性を重視し、最高学年がその背中を見せることで、下級生が自然とその立ち位置を目指せるように、教職員が見守っています。今年度は「スペシャルスマイル」と名付けた、長時間の交流活動も行いました。教職員の指導も大切ですが、児童同士が学び合う場は、それに匹敵するくらい重要です。今後も児童の自主的な活動を支えて参ります。

(保護者・教職員) 学校は、子供についての連絡、相談に適切に対応している。

(児童) 学校で困ったことがあったとき、先生や相談室の先生に相談することができた。

	4	3	2	1	0
保護者	43.7	44.2	4.2	0.5	7.4
児童	27.4	33.3	21.5	17.8	
教職員	73.9	26.1	0	0	

(児童・教職員考察)

この児童の結果は、「学校で困ったことがあった」と回答した児童のみの結果ですが、約4割の児童が相談しにくく感じていることが明確になりました。いざというときのために、日常からの信頼関係作りを、今以上に目指します。

(保護者考察)4・3合わせて87.9%です。

肯定的な意見が約88%と、数値を見れば高いですが、他のアンケートの回答と比較したときに、この点が本校一番の弱点であると考えます。厳しく見れば、保護者の皆様との連携がまだまだ十分ではないことが結果に現れています。これは教育の根幹に関わる部分で、学校が保護者にとって、もっと寄り添える・信頼できる場にならなくてはなりません。この問題に特効薬はありません。日々の取組から信頼を得られる・安心感を与えられるように、姿勢を見直して参ります。

(保護者・教職員) 学校は、子供の体力向上のための取組をし、外で遊んだり、進んで運動したりする子供の育成に努めている。

(児童) 体育の時間や休み時間に進んで体を動かしている。

	4	3	2	1	0
保護者	39.7	50.6	5.7	0	3.7
児童	54	31.2	12.1	2.7	
教職員	52.2	43.5	4.3	0	

(児童・教職員考察)

児童の半数以上は積極的に体を動かしていますが、約15%は消極的な姿勢が見られました。コロナ禍で外遊びの制限等もありましたが、今後は状況に応じ制限も見直し、積極的に運動できる環境作りを目指します。

(保護者・教職員) 学校は、緊急時に備えて安全指導（避難訓練、毎月の安全指導、防災教育）、校舎内外の安全管理に努めている。

(児童) 避難訓練に真剣に参加している。

	4	3	2	1	0
保護者	57.3	40.2	0	0	2.5
児童	60.8	31.2	6.4	1.6	
教職員	69.6	30.4	0	0	

(児童・教職員考察)

本校は、避難拠点連絡会の皆様の取組などもあり、安全への意識は児童も高いことが分かりました。「自分の命は自分で守る」をより徹底し、日頃からの防災意識の高まりを、さらに目指していきます。

(保護者・教職員) 学校は、校舎内の清掃、整理整頓に努めている。

(児童) そうじの時間は、そうじをしっかりとやっている。

	4	3	2	1	0
保護者	51.9	41.9	3	0.2	3
児童	44.4	44.4	10.5	0.6	
教職員	47.8	52.2	0	0	

(児童・教職員考察)

清掃への取組は、意識のもち方が大切です。「掃除をやらされている」ではなく、「自分たちの場所を自分たちできれいにしている」「きれいだ自分たちも気持ち良い」と、児童が思えるような指導を目指します。

学校は、学校だより、学年だより、ホームページ、保健だより、給食だよりなどで、学校の活動や取組を伝えている。

	4	3	2	1	0
保護者	62.8	36.5	0.5	0	0
教職員	95.7	4.3	0	0	

(教職員考察)

コロナ禍で学校の様子・児童の様子を伝えるのが難しくなりましたが、ホームページの充実や情報伝達の工夫など、新しい試みも生まれました。良い取組は継続させ、今後も開かれた学校を目指します。

(保護者考察) 4・3 合わせて 90.3%です。

肯定的な意見で9割を超えましたが、約5割の声が「だいたいあてはまる」だったことを重視しなくてはなりません。本校では、縄跳びへの取組や持久走週間の実施など、学校を上げて取り組んでいることがありますが、まだ改善の余地があります。また、体育の授業を通して、児童が運動に親しみをもち、より体を動かしたいと考えるようになることも大切です。言われたから運動するのではなく、自分から運動したい・外で遊びたいと思える児童の育成に、今後も努めて参ります。

(保護者考察) 4・3 合わせて 97.5%です。

大変多くの肯定的な意見をいただきました。全回答で「2・1」への回答がなかったことは、本校の安全指導に対して、皆様からのご理解を得られていると、私たちにも励みになりました。一番大事なものは命です。学校は何にも優先して、児童の命を守らねばなりません。避難訓練の時だけでなく、日頃からの意識が大切です。本校では、避難拠点連絡会の皆様も毎月会合をもち、学校・地域の安全のために様々な取組を行っております。今の取組を今後も継続して参ります。

(保護者考察) 4・3 合わせて 93.8%です。

こちらも、半数以上が「とてもあてはまる」と回答をいただきました。校舎内の清掃・整理整頓を行うためには、日々の児童による清掃活動だけではなく、用務主事を中心とした教職員の環境整備が重要です。本校は2名の用務主事が、計画的に校舎内の清掃を実施し、環境整備に努めています。校舎が築30年を超え、校庭の砂埃が入り込むなど、完璧に防ぐことが難しいこともありますが、児童が学習に集中できる校内環境を整えられるよう、これからも努力を続けて参ります。

(保護者考察) 4・3 合わせて 99.3%です。

肯定的な意見が99%を超えたこと。これは驚きとともに、コロナ禍でどうやって学校の情報を発信していこうか悩み、試行錯誤を重ねてきたことが結果に現れ、大きな自信と喜びになりました。この回答だけ唯一「分からない」が0%だったことも、保護者の皆様とのつながりを深く感じました。しかし、これに満足してはいけません。活動を継続し、今後も同じように皆様とのつながりを保つことが大切です。今後もホームページの充実等を目指し、工夫を考えて参ります。

学校は、学校公開、文化的学習発表会（学芸会、音楽会、展覧会）、講演会（セーフティ教室、道徳授業地区公開講座）などを通じ、育てたい子供の姿を保護者、地域と共有し、連携して子供の教育にあたっている。

	4	3	2	1	0
保護者	60.8	36	0.7	0.5	2
教職員	91.3	8.7	0	0	

（教職員考察）

児童の教育は学校だけで行えるものではありません。保護者・地域との連携でさらに強固なものとなります。教職員も、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力に助けられています。今後ともよろしくお願ひいたします。

（保護者考察）4・3合わせて96.8%です。

こちらも多くの方の肯定的な回答をいただきました。「とてもあてはまる」が6割を超えたことも、保護者・地域の皆様との深いつながりを感じます。今年度、久しぶりに学校公開を実施しております。ホームページを活用した情報発信も大切ですが、直接児童の活動を見ていただくことが一番です。全てを、コロナ以前のような状況に戻すことは難しいですが、今できることを考え、保護者・地域の皆様と連携しながら、これからも児童の成長を支えて参ります。

よりよくするための考え・意見に答えます

自由記述欄に、本校の教育活動に対する、たくさんの応援や激励の声、疑問や質問をいただきました。ありがとうございます。これらの声を聴き、今後の教育活動をどう進めていくのか、毎年考えております。全てのご意見・ご質問にお答えすることはできませんが、校内ではその声を受け止めて、しっかりと共有しております。ここでは、可能な範囲で、それらの声をご紹介します。

- ・ **タブレットを授業や個人の勉強でどのように使用しているのか、全く親には分かっていません。子供からわざわざ伝えてくれることはないの、分からないままになってしまっています。内容など情報を伝えてもらえると有り難いと思います。**

→タブレットの活用に関するご意見はたくさん寄せられました。タブレットの全員配布から丸2年が経過しましたが、まだまだ手探りの状況ではあります。しかし、昨年度までの反省を生かし、今年度はタブレットの積極的な活用を呼びかけ、ICT支援員の協力も得て教員研修を行い、授業での活用を増やしています。今後、タブレットは必要不可欠な学習用品になっていくので、「まずは使ってみる」を合言葉に、工夫を考えていきます。

- ・ **コロナ禍というイレギュラーな状況下において、子供たちに小学校での貴重な経験を多く作ってくださったことに感謝でいっぱいです。**
- ・ **コロナの発生状況が全く保護者に分からず、予防が取りづらい。発生していたら普段より良く手を洗うよう伝えたり、学童を早く迎えに行くようにしたり、こちらも感染防止の行動を取りたいのですがお知らせがなすぎて取れません。昨年のように発生状況をメールでいただきたい。**

→コロナウイルスの影響を受けるようになって3年以上経ち、コロナ禍での教育も、初期の頃からかなり変容してきました。全ての活動を止めるのではなく、社会情勢を考慮しながら、可能な取組を進めています。本校は公立校ですので、コロナ禍での教育活動は、文科省が発信する情報を基に、東京都・練馬区が作成したガイドラインに基づいて行っています。情報発信も、そのガイドラインに基づいて行っています。コロナウイルスの影響はしばらく続くと思われるますので、今後も状況に応じて対応を考えて参ります。

- ・ **毎月の学年便りが、単なる保護者への連絡ではなく、子供たちの様子や、今月どういう内容を学ぶのか、ということも書かれているので、学校側が家庭との連携を大切にしている、ということがよく伝わります。**
- ・ **最近初めて、学校のホームページに子ども達の様子や毎日の給食が載っている事を知りました。ホームページを見るのが楽しみになりましたが、意外と知らない方も多いのでは？と思いました。**

→学校や児童の様子を、保護者・地域の皆様にできる限りお伝えしようと、様々な工夫を考えています。情報を共有することで、保護者・地域・学校が同じ方向を見て児童を見守れます。これからも継続していきます。

- ・ **先生はとても熱心で、お忙しいのに相談にのってくださいます。先生に、「いじめアンケートについて質問された」と、先生とお話できて嬉しい様子でした。教育面も生活面も、安心して子どもをお任せできています。**

→今年度から、生活アンケートを毎月とっています。これは、児童の様子を普段から細かく見取り、いじめ等の未然防止や、トラブルも初期段階で解決できるようにするためです。児童にも、何かあれば些細なことで相談してよいと声を掛けています。今後も、児童・教師が日常から良い関係を築き、その継続を目指していきます。

- ・ **先生方の負担が少しでも少なくなるよう外部に委託できることはしてもらいたいと思います。**

→ニュースでも話題になっている教師の多忙に対し、学校も可能な限りの働き方改革を進めています。充実した授業を実施し、子供と向き合うためには、教師にも心の余裕が必要です。皆様の温かなお言葉に感謝いたします。皆様にこれ以上心配をおかけすることないよう、さらなる改革を進めていきたいと思ひます。